



TWEET

「子育て 1 年目、突破！」

11 月で息子が 1 歳になりました。初めての子育て、この 1 年はあっという間だったという気持ちと、やっとここまでこれたなあ、とホッとしている気持ちがあります。

なかなかしっかり寝ることが出来なかった息子は、夜中に起きていることが多く、特に最初の 2 ヶ月は最強に寝不足&身体中痛い日々でした。1 ヶ月は里帰りもしましたが、授乳が軌道に乗るまでの間がとにかくしんどかったのを覚えています。

頼れる家族は県外で、親しい友人も遠方にいるので、コロナ直前の年に和歌山へ引っ越してきた私たち夫婦は日々をどう過ごすかを模索していました。そういった状況下だったこともあり、寝不足の状態で自分 1 人で日中子どもと過ごすのは無理だと思い、生後 3 ヶ月の頃初めてぐるんぱへ行きました。

「私、この人と知り合いやったっけ??」と勘違いするぐらい笑、自然に職員さんにあれよあれよと招き入れられ、「抱っこしよか^^」と、ひょいっと息子を抱っこしてくれて、泣いたらあやしてくれて。今思えばぐるんぱで日々見かける光景なのですが、当時の私にとってはなんとありがたい環境なんだ！と来てすぐに思いました。抱っこを代わってもらえる環境に居ると無意識のうちに休憩できていました。

それでも、息子の成長に伴い悩むことが次から次へと変わる日々で、生後 6 ヶ月頃に少しだけ風邪をひいた私はドッと疲れが押し寄せていることに気がつきました。

割と大雑把な性格で、一人暮らしの独身時代は最低限の家事しかしなかった私にとっては、出産後の生活は今までとかけ離れたものでした。室温や湿度を気にしたり、息してる?と寝てる時心配したり、動き出すと目が離せない、、、等。一日を終えることに精一杯、でもあっという間に一日は過ぎ去り、出かけられずに「今日何もできひんかった。。」という虚しい気持ちになる日も。

ぐるんぱで何かの機会に「好きなこと、ものは？」という話題になった時、答えるのに時間がかかりました。「自分」「私」を主語にして物事を考える機会が極端に減っていたからです。

何が好きやったっけ、、、?と考えると「お酒」「遠出をすること」だったと思い出しました。笑 飛行機や新幹線で全国に散らばっている学生時代の友人と定期的に集合したり、仕事で出張に行ったり、ご当地のお酒を飲んだりとかつて日常だったことが、自分にとって忙しかったけど息抜きの機会でもあったんだなと初めて自覚しました。

「母親だから」「望んで子どもを産んだのだから」というどこからか聞こえてきそうな、自分を縛り付ける言葉を、自分で自分に投げかけていたんだと思います。

これまでに、初めての妊娠で流産を経験し、その後短期間ではありましたが不妊治療も経験した私にとって待望の出産。それも一生涯懸命子どもと向き合うのが当たり前だと無意識に考えていたのだと思います。

子育てがしんどいな、と感じることは別に悪くない、そんなに心配しすぎなくて良いかも、と少しずつ思えるようになってきました。自分にとっての息抜きを保障するために、日々夫にプレゼンをし続け笑、たま～に遠出もしています。

(夫よ、どうもありがとうこれからもよろしく笑)

今は後追いがとてもひどく、最近は離乳食も投げられることが増え新たなしんどさが生じていますが、子どものかわいさ、子どもと今を過ごせる時間の貴重さを感じる日となんやねんめっちゃしんどいやん、もう今日無理、、、!!と思う日とどちらもありますが(後者の方が多いかも)、どちらもあって当たり前やし、その間で揺れ動きながら日々気楽に過ごしていけたらなあと思っています。^^

PN 卒乳して毎日ビールが飲みたいなあ

このコーナーはぐるんぱママの「つぶやき」を随時掲載します。お楽しみに！投稿も大歓迎です！